

経済学部専門ゼミナール(担当：西山賢一)  
研究課題「名古屋城観光と名古屋観光の活性化」

本レポートは、2015 年度後期の経済学部専門ゼミナール(担当：西山賢一)の授業のまとめとして学生が作成・提出したものである。内容は、昨年秋に名古屋城入場者に対してゼミナールで実施した「名古屋城観光アンケート」の分析をもとに、名古屋観光を活性化させるいくつかの提案を行おうとしたものである。レポートでは、南・牧野・萩原の3名が名古屋城で行った最終的なプレゼン内容がまとめられている。

名古屋城観光について考える

(平成 27 年度ゼミナール調査のまとめ)

名城大学経済学部

西山賢一ゼミナール

はじめに

私たち西山ゼミナールで行った名古屋城アンケートの結果についてご報告を行いたいと思います。現在、名古屋城は、改修の時期を迎えており、河村市長は、木造で再建築をしたいと考えられており、多くの方がこれからの名古屋城について非常に強い関心をもっています。そんな、これからの名古屋城観光について、私たちが名古屋城で実際に取ったアンケートの内容も踏まえて、考えていきたいと思います。

アンケートを取るにあたっては、名古屋城事務所をはじめ関係各位にたいへん御世話になりました。深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 単純集計

まず、私たちが名古屋城で実施した観光アンケートの結果を見ていきたいと思います。  
アンケートは10月24日から11月22日の期間内の土曜日と日曜日、計五日間実施しました。  
アンケートの総数は883枚です。他にも、外国人を対象に、別途アンケートを行いました。

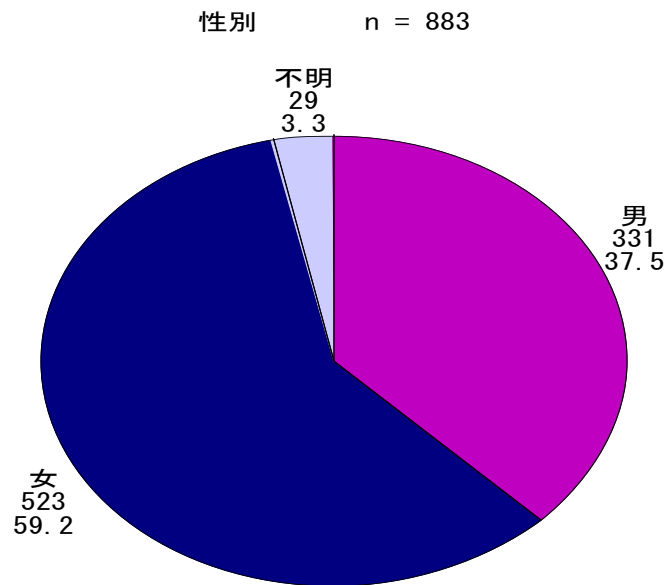


図 1

図 1 は、回答者の性別のグラフです。これを見ると、男性は 37.5%、女性は 59.2%となっています。

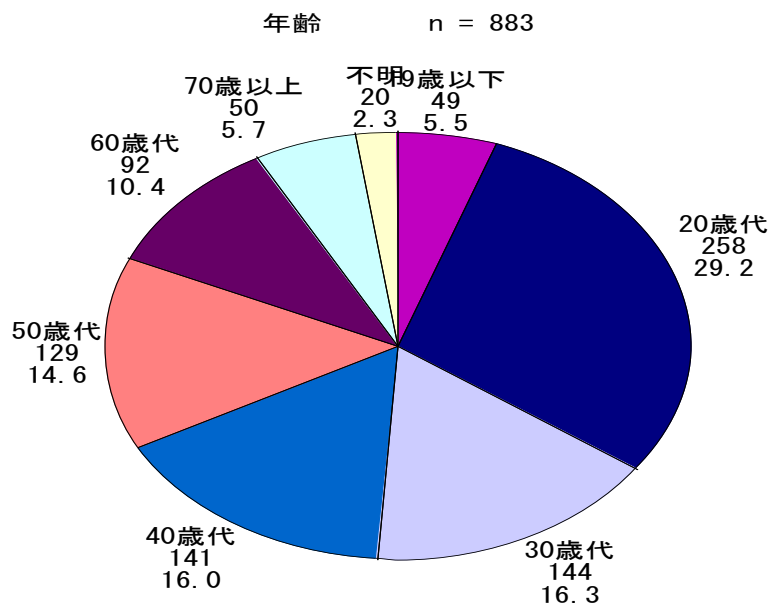


図 2

図 2 は、回答者の居住地のグラフです。

名古屋市は 13.4%、名古屋市を除いた愛知県は 15.6%、関東は 23.2%、近畿は 11.6%となっています。愛知県全体としてみると 29.0%、続いて関東・関西という順になっています。

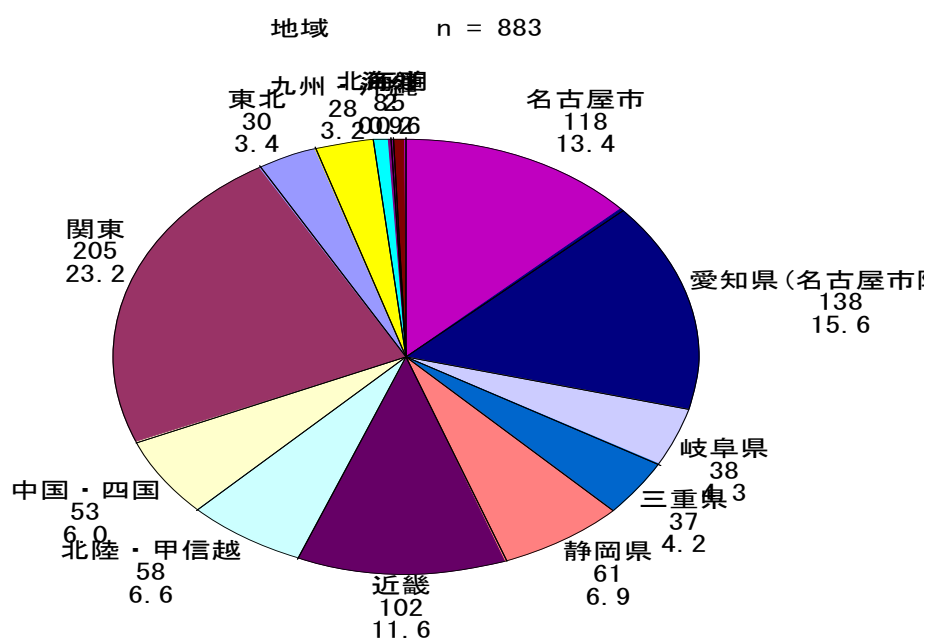


図 3

図 3 は、回答者の居住地のグラフです。

名古屋市は 13.4%,名古屋市を除いた愛知県は 15.6%、関東は 23.2%、近畿は 11.6%となっています。愛知県全体としてみると 29.0%、続いて関東・関西という順になっています。

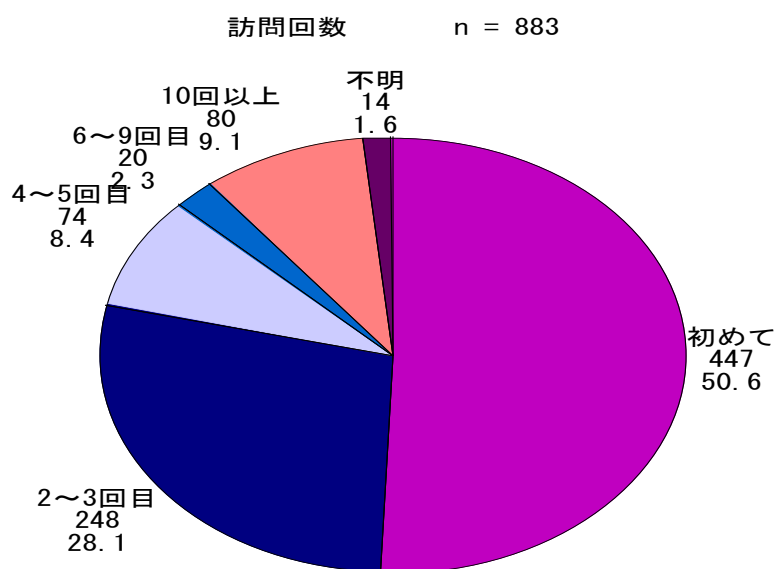


図 4

図 4 は、回答者の名古屋城の訪問回数のグラフです。

初めての訪問者は 50.6%、2～3 回目は 28.1%、4～5 回目は 8.4%、6～9 回目は 2.3%、10 回以上 9.1%となっています。半数は初めての人で、もう半数はリピーターであることがわかります。

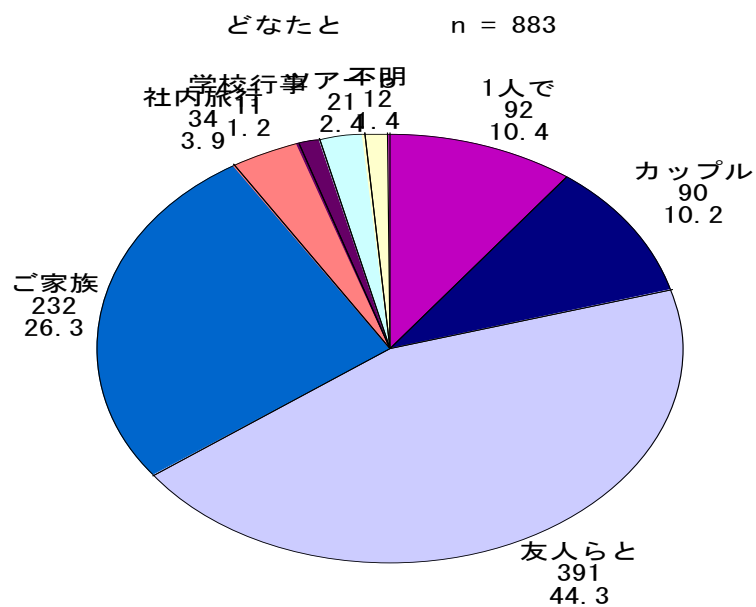


図 5

図 5 は、回答者がだれと来場したかのグラフです。

友人と来場する人、ご家族でいらっしゃった人が多く、その合計で 7 割を超えています。  
1 人での来場、あるいはカップルでの来場はそれほど多くないことがわかります。

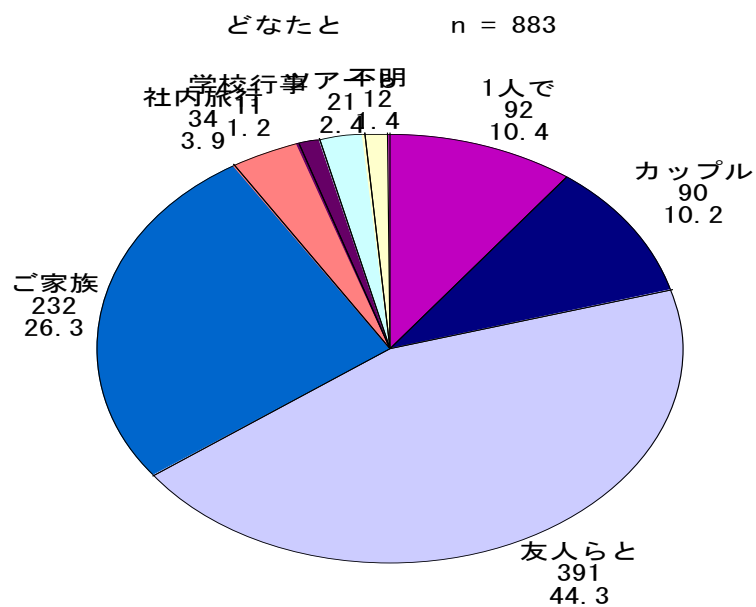


図 6

図 6 は、回答者がだれと来場したかのグラフです。

友人と来場する人、ご家族でいらっしゃった人が多く、その合計で 7 割を超えています。

一人での来場、あるいはカップルでの来場はそれほど多くないことがわかります。

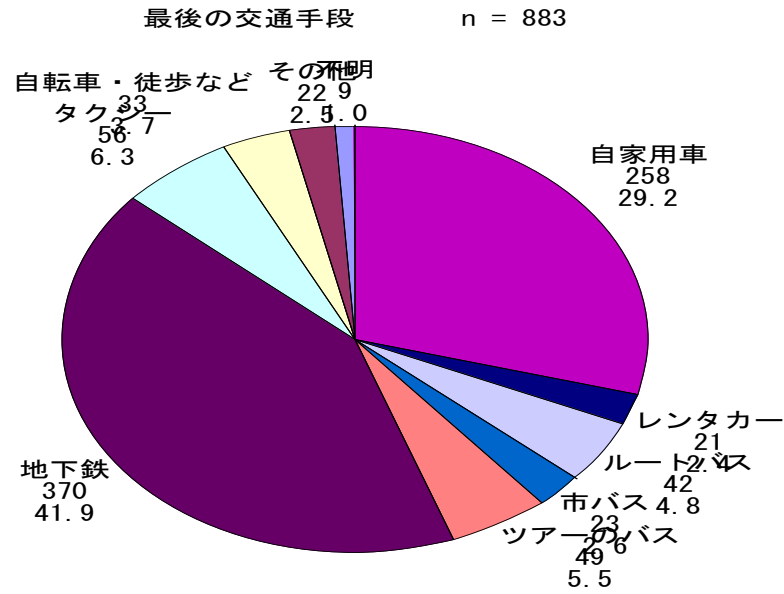


図 7

図 7 は、回答者が名古屋城に来る際に利用した最後の交通手段のグラフです。

地下鉄が最も多くなっており 41.9%で、続いて、自家用車で名古屋城まで来た人が 29.2%で2位となっています。ルートバスと市バスの合計は 7.4%となり、あまり高い数値とは言えませんでした。

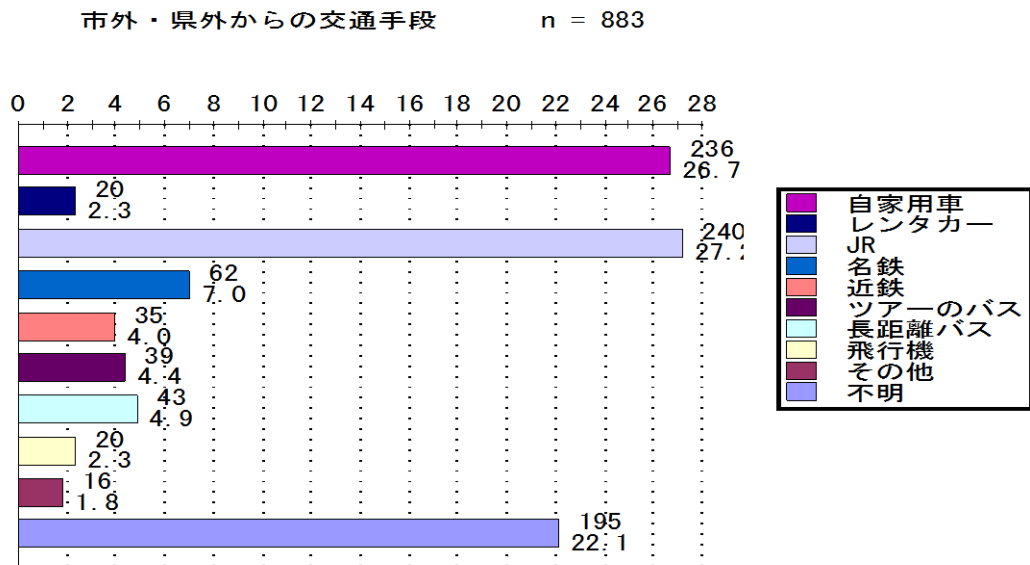


図 8



図 8 は、回答者が名古屋市に入る際の交通手段のグラフです。

J R 27.2%と自家用車 26.7%が多くを占めており、遠くからでも意外と名古屋まで車で来る人が多いことがわかります。

訪問を考えたきっかけ

n = 883

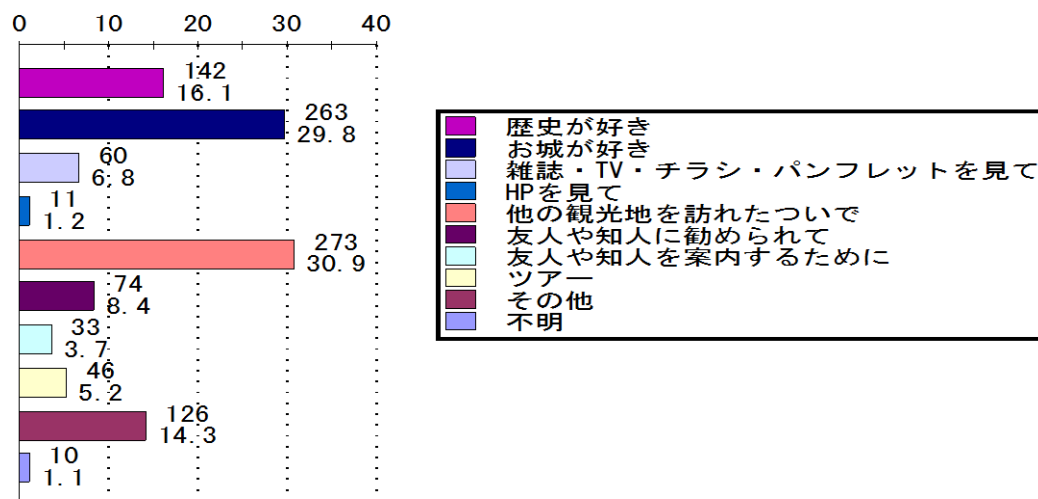


図 9

図 9 は、回答者が訪問を考えたきっかけのグラフです。

「他の観光地を訪れたついで」という回答と「お城が好き」という回答が多く、また、「歴史が好き」という回答も多く得られました。歴史好きの需要が高いことがわかります。

城以外で今回訪れたところ、訪れる予定のところ

n = 883

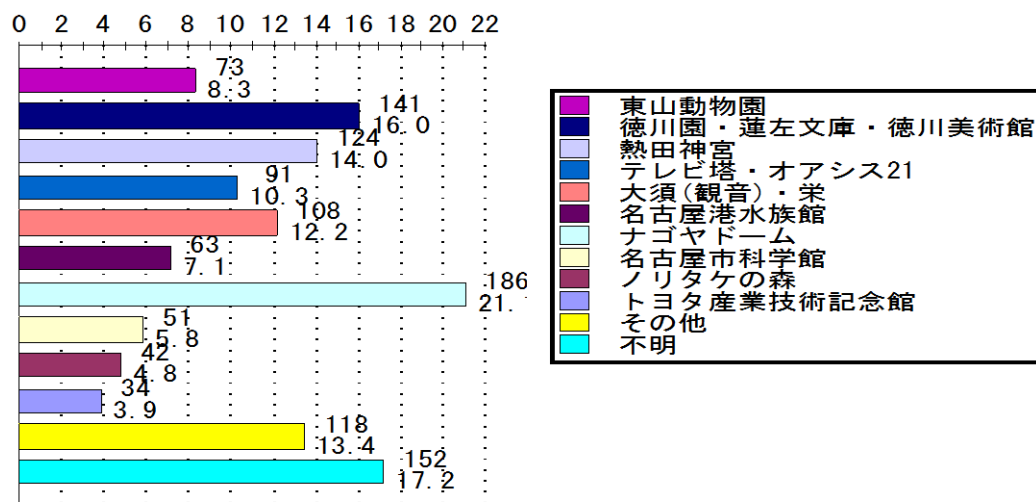


図 10

図 10 は、回答者が名古屋城以外で訪れる・訪れたいところのグラフです。

ナゴヤドーム 21.1% と一番多いという結果となりました。ナゴヤドームが多いのは、アンケート実施日にコンサートがあったからではないかと思われます。また、歴史好きの層が、徳川園・蓬左文庫・徳川美術館などを回っているものとうかがえます。

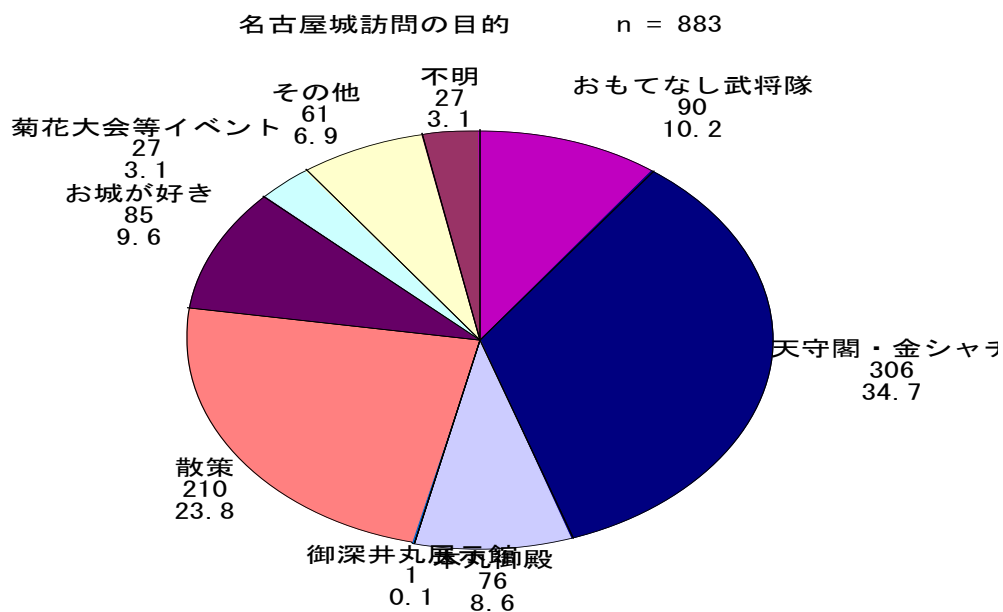


図 11

図 11 は、名古屋城訪問の目的のグラフです。

お城からの眺めや金シャチが主な目的のひとつが 34.7%と多いですが、散策を目的としている人も 23.8%と多く、「これが見たい」と思って来ていない人もいることがわかります。

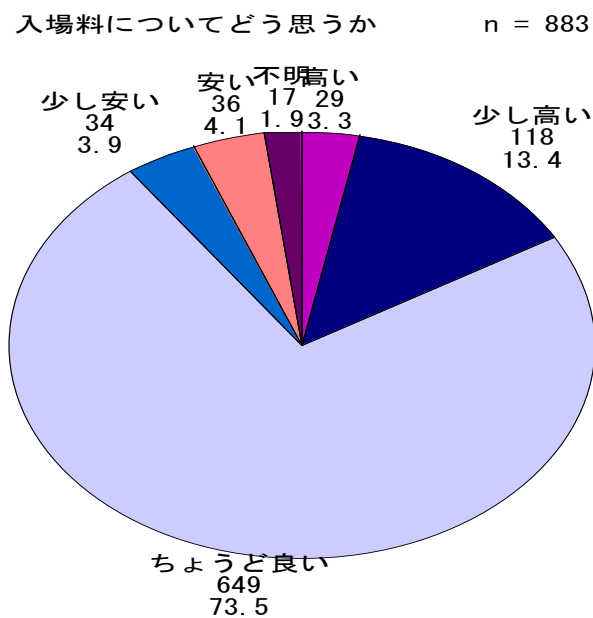


図 12

図 12 は、回答者の入場料に対する意識のグラフです。

約 3/4 の人はちょうど良いと回答いることがわかりますが、高い、少し高いと思っている人が一定数いることがわかりました。

年間パスポートを持っていますか？

n = 883

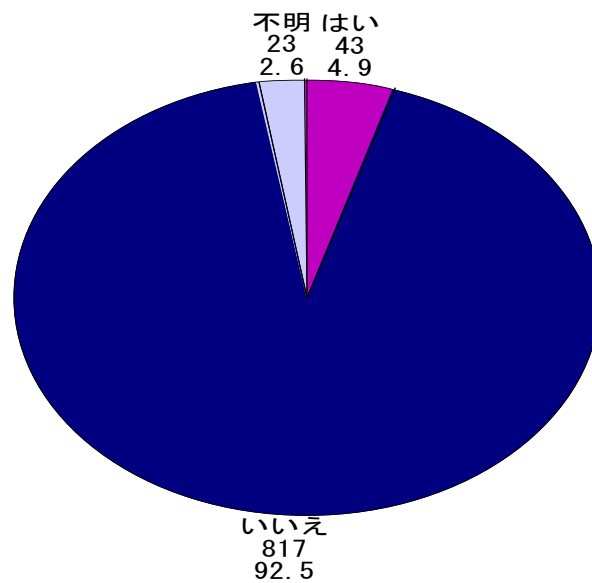


図 13

図 13 は、回答者が年間パスポートを持っているかのグラフです。

はい...4.9%      いいえ...92.5%    という回答でした。年間パスポートを持っている人が5 %近くいることがわかります。どのような人たちが年間パスポートで入場しているのでしょうか、後で触れます。

望ましい閉園時間

n = 883

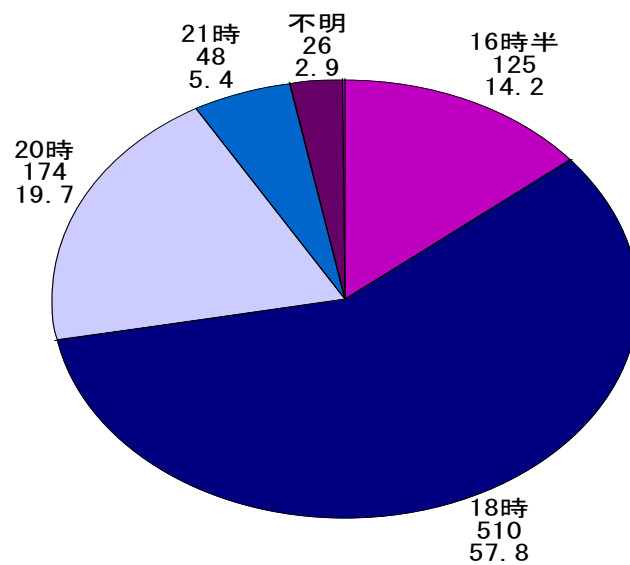


図 14

図 14 は、回答者が望ましいと思う閉園時間のグラフです。

現在のままでいいと思っている人は、14.2%なのと少ないのに対し、8割強の人は今の閉園時間は早いと感じています。

ガイド・ボランティアを利用しましたか？

n = 883

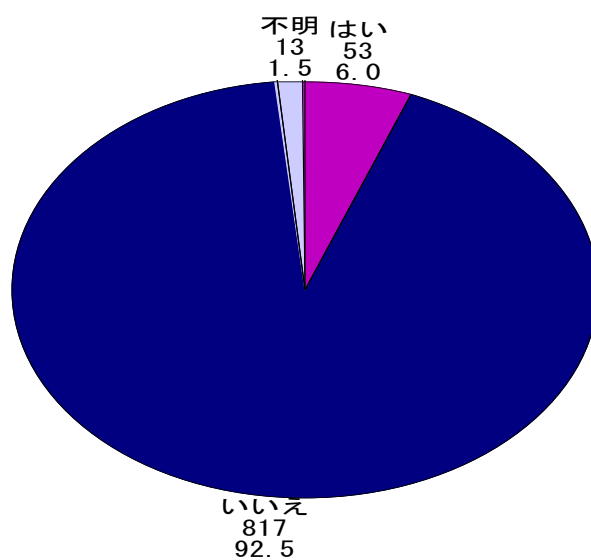


図 15 は、回答者がガイドボランティアを利用したかのグラフです。

ほとんどの人がガイドボランティアを利用しておりません。

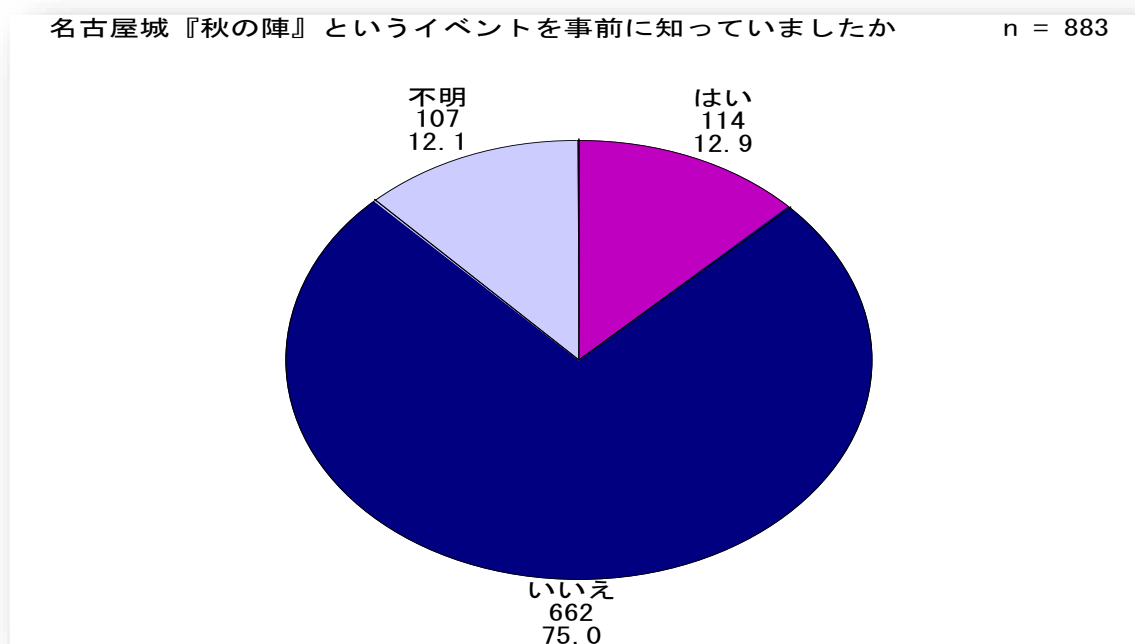


図 16 は、名古屋城『秋の陣』というイベントを事前に知っていて名古屋城に訪れた人を表したアンケート結果のグラフです。はい、と答えた人は 12.9%、いいえと答えた人は 75%で、イベントの開催が一定数の人たちに浸透していることがわかります。

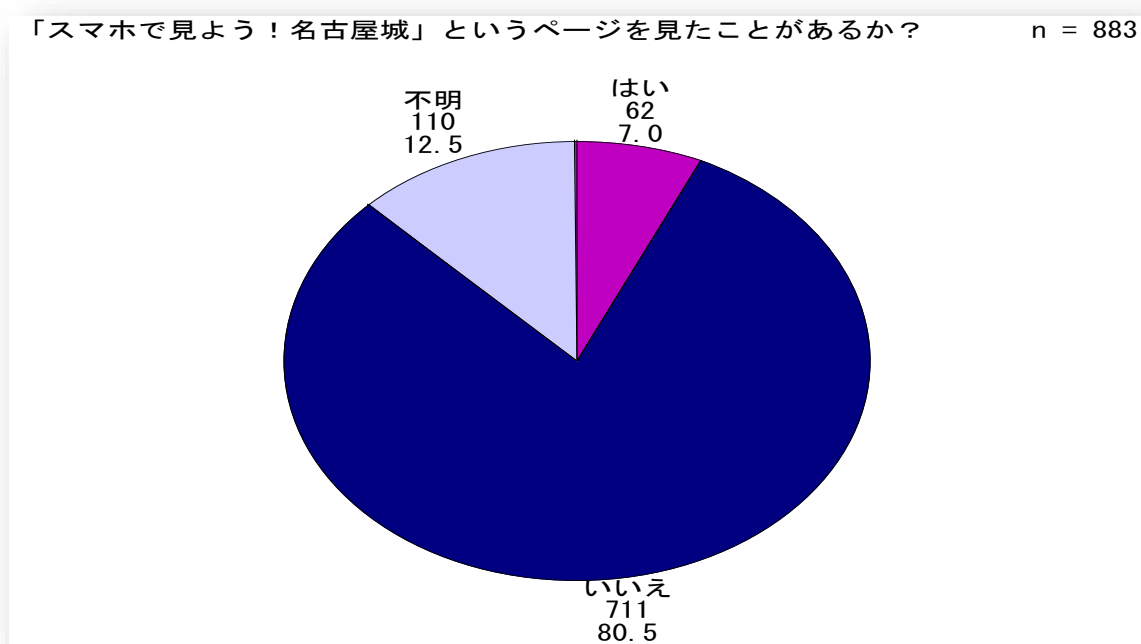


図 17

図 17 は、「スマホで見よう！名古屋城」というページを見たことがあるかというアンケート結果のグラフです。

はいと答えた人は 7%、いいえと答えた人は 80.5%と、ほとんどの人がスマートフォン用のページを見ていないことがわかりました。

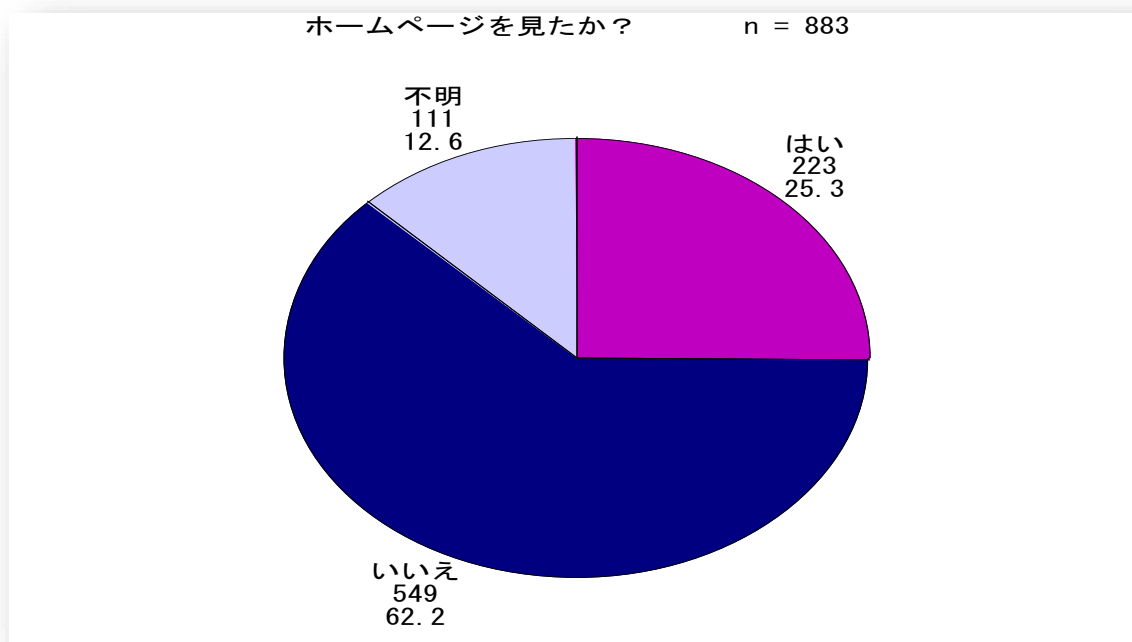


図 18

図 18 は、名古屋城のホームページを見たかというアンケート結果のグラフです。

はいと答えた人は 25.3%、いいえと答えた人は 62.2%となっており、結構な数の人たちがホームページを見たことがあると答えています。

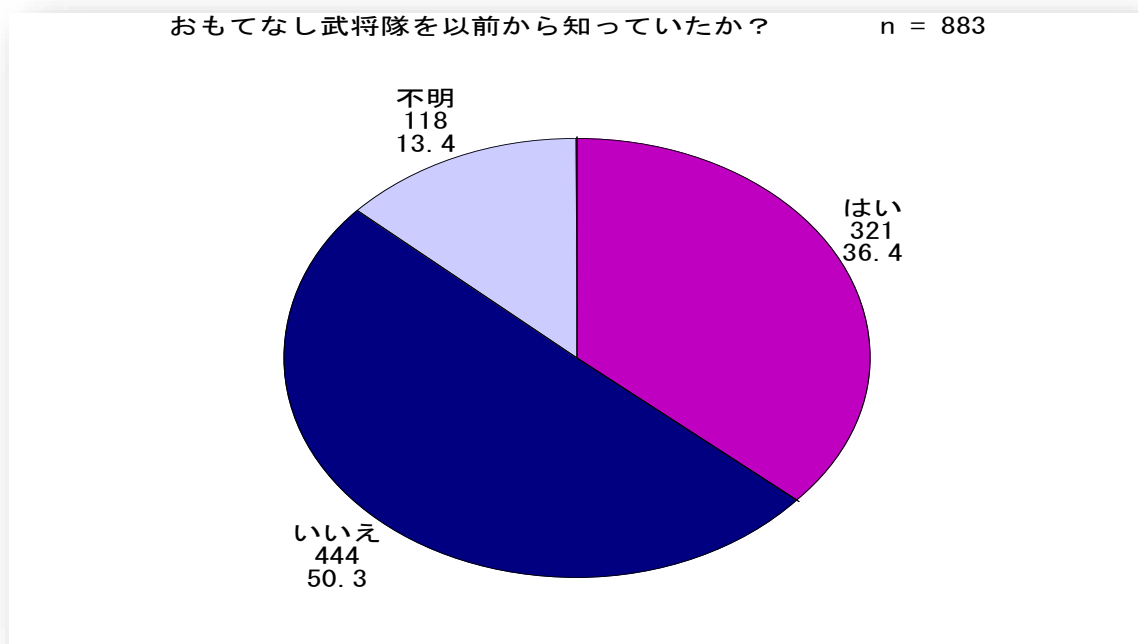


図 19

図 19 は、おもてなし武将隊を以前から知っていたかのアンケート結果のグラフです。

はいと答えた人は 36.4%、いいえと答えた人は 50.3%と、約半数がおもてなし武将隊を以前から知らなかったという結果になりました。おもてなし武将隊の認知度は高いといえます。



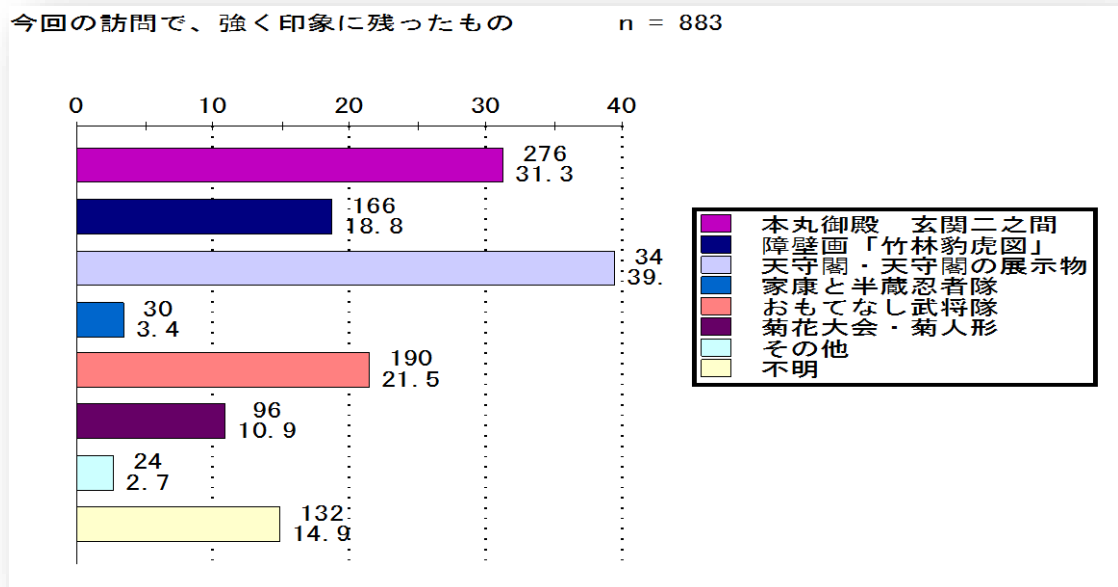


図 20 は、今回の訪問で強く印象に残ったもののアンケート結果のグラフです。

天守閣や天守閣の展示物と答えた人が 39.4%、本丸御殿と答えた人が 31.3%と、名古屋城のメインである天守閣や本丸御殿が印象に残っている人が多いです。

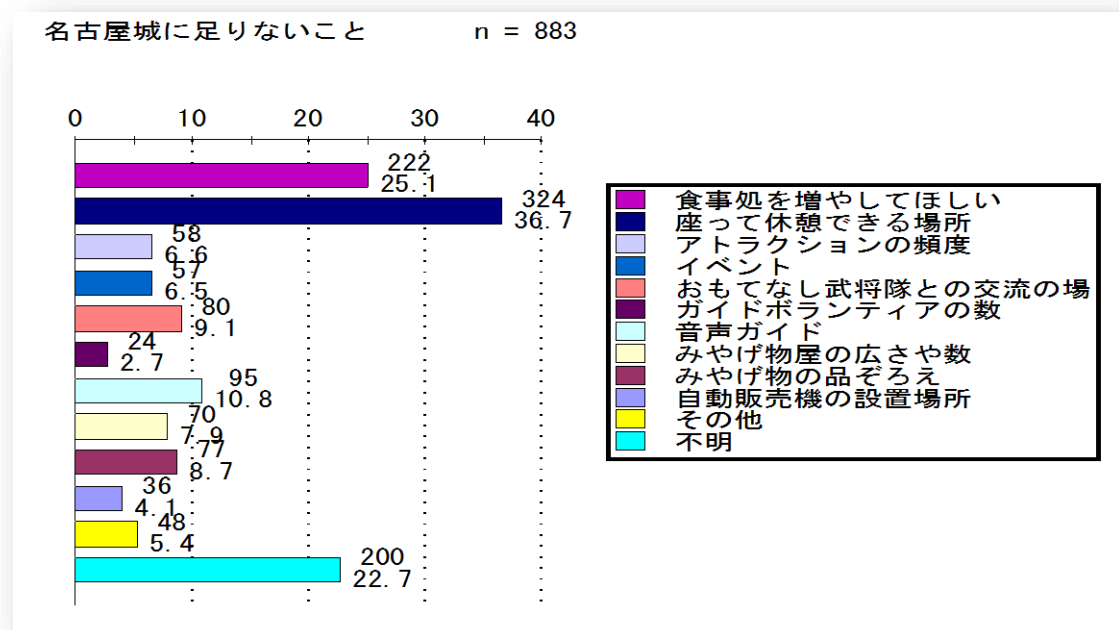


図 21

図 21 は、名古屋城に足りないもののアンケート結果のグラフです。

座って休憩できる場所と答えた人が 36.7%、食事処と答えた人が 25.1%と、休憩場所やお食事処といった、観光客が一服できる場所が不足しているということがわかりました。

## クロス集計結果に基づく名古屋城観光の活性化提案

以下の順に、分析提案

若い人への提案

高齢者層への提案

自家用車で来ている人への提案(略)

地元の人への提案

散策好きな人への提案

天守閣・木造再建について

## 若い人への提案

地域 × 年齢

上段:度数 下段:%		地域													
		合計	名古屋市	愛知県(名古屋市除く)	岐阜県	三重県	静岡県	近畿	北陸・甲信越	中国・四国	関東	東北	九州・沖縄	北海道	海外
年齢	全体	860 100.0	115 13.4	134 15.6	37 4.3	36 4.2	61 7.1	98 11.4	57 6.6	52 6.0	204 23.7	30 3.5	27 3.1	7 0.8	2 0.2
	19歳以下	49 100.0	8 16.3	11 22.4	2 4.1	4 8.2	5 10.2	-	1 2.0	4 8.2	10 20.4	1 2.0	2 4.1	1 2.0	-
	20歳代	256 100.0	26 10.2	41 16.0	15 5.9	12 4.7	23 9.0	39 15.2	8 3.1	11 4.3	63 24.6	6 2.3	12 4.7	-	-
	30歳代	144 100.0	15 10.4	25 17.4	11 7.6	7 4.9	5 3.5	17 11.8	13 9.0	4 2.8	33 22.9	7 4.9	5 3.5	1 0.7	1 0.7
	40歳代	141 100.0	12 8.5	21 14.9	3 2.1	6 4.3	5 3.5	16 11.3	21 14.9	11 7.8	41 29.1	4 2.8	1 0.7	-	-
	50歳代	129 100.0	16 12.4	12 9.3	4 3.1	1 0.8	22 17.1	13 10.1	7 5.4	16 12.4	27 20.9	7 5.4	2 1.6	2 1.6	-
	60歳代	92 100.0	18 19.6	13 14.1	2 2.2	3 3.3	1 1.1	12 13.0	4 4.3	5 5.4	25 27.2	4 4.3	3 3.3	1 1.1	1 1.1
	70歳以上	49 100.0	20 40.8	11 22.4	-	3 6.1	-	1 2.0	3 6.1	1 2.0	5 10.2	1 2.0	2 4.1	2 4.1	-

図 22

若い人はどのような地域から来ているのでしょうか。

図 22 らは、年齢別に見た、どの地域から来たかをあらわした表です。19 歳以下は 20.4%、20 歳代は 24.6%と、ともに遠方である関東から多く来ていることがわかります。

訪問を考えたきっかけ × 年齢

上段:度数 下段:%		訪問を考えたきっかけ									
		合計	歴史が好き	お城が好き	雑誌・TV・チラシ・パンフレットを	HPを見て	他の観光地を訪れたついで	友人や知人に勧められて	友人や知人を案内するために	ツアー	その他
年齢	全体	853 100.0	140 16.4	260 30.5	57 6.7	11 1.3	269 31.5	72 8.4	32 3.8	45 5.3	120 14.1
	19歳以下	49 100.0	11 22.4	13 26.5	4 8.2	1 2.0	11 22.4	4 8.2	5 10.2	-	5 10.2
	20歳代	257 100.0	25 9.7	51 19.8	23 8.9	4 1.6	111 43.2	24 9.3	4 1.6	5 1.9	33 12.8
	30歳代	143 100.0	20 14.0	44 30.8	9 6.3	4 2.8	44 30.8	6 4.2	6 4.2	12 8.4	24 16.8
	40歳代	140 100.0	23 16.4	43 30.7	10 7.1	1 0.7	43 30.7	11 7.9	7 5.0	10 7.1	19 13.6
	50歳代	128 100.0	29 22.7	42 32.8	7 5.5	-	41 32.0	19 14.8	2 1.6	12 9.4	16 12.5
	60歳代	88 100.0	17 19.3	45 51.1	3 3.4	1 1.1	12 13.6	7 8.0	4 4.5	1 1.1	17 19.3
	70歳以上	48 100.0	15 31.3	22 45.8	1 2.1	-	7 14.6	1 2.1	4 8.3	5 10.4	6 12.5

図 23

図 22 は、年齢別にみた、訪問を考えたきっかけを表した表です。

19 歳以下は 22.4%、20 歳代は 43.2%と、ともに他の観光地を訪れたついでに名古屋城を訪れていることがわかります

城以外で今回訪れたところ  
訪れる予定のところ × 年齢

上段:度数 下段:%		城以外で今回訪れたところ、訪れる予定のところ											
		合計	東山動物園	徳川園・蓮花文庫・徳川美術館	熱田神宮	テレビ塔・オアシス21	大須(観音)・栄	名古屋港水族館	ナゴヤドーム	名古屋市科学館	ノリタケの森	トヨタ産業技術記念館	その他
年齢	全体	714 100.0	71 9.9	136 19.0	123 17.2	87 12.2	106 14.8	63 8.8	184 25.8	51 7.1	42 5.9	34 4.8	114 16.0
	19歳以下	43 100.0	7 16.3	5 11.6	-	3 7.0	5 11.6	2 4.7	14 32.6	5 11.6	1 2.3	-	7 16.3
	20歳代	236 100.0	22 9.3	28 11.9	25 10.6	24 10.2	54 22.9	25 10.6	55 23.3	20 8.5	2 0.8	3 1.3	40 16.9
	30歳代	117 100.0	9 7.7	12 10.3	20 17.1	14 12.0	12 10.3	8 6.8	32 27.4	9 7.7	5 4.3	5 4.3	22 18.8
	40歳代	119 100.0	14 11.8	22 18.5	26 21.8	15 12.6	7 5.9	8 6.7	45 37.8	2 1.7	5 4.2	6 5.0	15 12.6
	50歳代	104 100.0	7 6.7	29 27.9	24 23.1	19 18.3	15 14.4	9 8.7	26 25.0	4 3.8	9 8.7	6 5.8	9 8.7
	60歳代	55 100.0	3 5.5	20 36.4	13 23.6	7 12.7	3 5.5	4 7.3	6 10.9	5 9.1	14 25.5	7 12.7	10 18.2
	70歳以上	40 100.0	9 22.5	20 50.0	15 37.5	5 12.5	10 25.0	7 17.5	6 15.0	6 15.0	6 15.0	7 17.5	11 27.5

図 23

それでは、他の観光地を訪れたついでに名古屋城を訪れる若い人は、どのような観光地のついでに名古屋城をおとずれているのでしょうか。

図 23 は、年齢別に見た、名古屋城の他に訪れる観光地についてあらわした表です。19 歳以下は 32.6%、20 歳代は 23.3%と、ともに、合わせてナゴヤドームに訪れていることがわかります。この結果は、先ほども申し上げましたが、アンケート実施日にナゴヤドームにて人気歌手のコンサートが開催されていたことが影響していると考えられます。私たちは、このような、何らかのイベントのついでに名古屋城をおとずれている人々が一定数いることに着目しました。

若い人は、関東からきている人が多く、他の観光地を訪れたついでに名古屋城を訪れる人が多いのですが、他の観光地とはナゴヤドームである人が多かったことがわかります。アンケートを取っている日に、人気歌手のコンサートがあり、それを見に来るついでに名古屋城を訪れたということが今回わかりました。

ナゴヤドームでは、毎日のように、さまざまな大規模なイベントが開催されます。また、名古屋城に限らずとも、名古屋市内ではさまざまなイベントが開催され、そのイベントには、遠方の観光客も集まってきます。そして、今回のアンケートで、そのようなイベントのついでに、名古屋城を訪れる若者の観光客が非常に多いことがわかったのです。

このようにイベントを目的に名古屋を訪れた観光客が名古屋城を訪れる一連の流れが強まれば、関東などの遠方から訪れている若い人々をさらに呼び込むことができると考えました。そこで、この、イベントのついでに観光をする層を引き込む方策を考えていきたいと思います。

入場料についてどう思うか × 年齢

上段:度数 下段:%		入場料についてどう思うか					
		合計	高い	少し高い	ちょうど良い	少し安い	安い
年齢	全体	846 100.0	29 3.4	116 13.7	631 74.6	34 4.0	36 4.3
	19歳以下	46 100.0	3 6.5	7 15.2	33 71.7	1 2.2	2 4.3
	20歳代	256 100.0	11 4.3	42 16.4	183 71.5	10 3.9	10 3.9
	30歳代	142 100.0	5 3.5	10 7.0	115 81.0	7 4.9	5 3.5
	40歳代	140 100.0	2 1.4	21 15.0	108 77.1	1 0.7	8 5.7
	50歳代	129 100.0	2 1.6	19 14.7	97 75.2	8 6.2	3 2.3
	60歳代	87 100.0	2 2.3	11 12.6	62 71.3	5 5.7	7 8.0
	70歳以上	46 100.0	4 8.7	6 13.0	33 71.7	2 4.3	1 2.2

図 24

図 24 によれば、現在、名古屋城の入場料については、19 歳以下と 20 歳代の若い層と 70 歳以上が「高い・少し高い」と思っている人たちの割合が多いという結果が出ています。19 歳以下や 20 歳代などの若い層は、高校や大学に所属している人も多く、高校生や大学生は社会人のように金銭を稼ぐことが難しいため、若い層で入場料金を高く感じる傾向があるようです。

このため、何らかの割引を行うことによって、若い層は名古屋城を訪れやすくなります。例えば、他のイベントの施設の中に置いてあるパンフレットを持って訪れた観光客に対して割引を行うなどのように、イベントついでの観光客が、名古屋城を訪れやすい環境を整えていくことで、おのずとイベントついでの観光客は増えていくのではないのでしょうか。

どなたと × 年齢

上段:度数 下段:%		どなたと							
		合計	1人で	カップル	友人らと	ご家族	社内旅行	学校行事	ツアーと
年齢	全体	853 100.0	90 10.6	89 10.4	382 44.8	227 26.6	34 4.0	11 1.3	20 2.3
	19歳以下	49 100.0	5 10.2	9 18.4	19 38.8	14 28.6	1 2.0	1 2.0	-
	20歳代	254 100.0	24 9.4	44 17.3	139 54.7	33 13.0	6 2.4	8 3.1	-
	30歳代	143 100.0	14 9.8	19 13.3	58 40.6	43 30.1	6 4.2	-	3 2.1
	40歳代	141 100.0	12 8.5	7 5.0	61 43.3	47 33.3	8 5.7	-	6 4.3
	50歳代	127 100.0	12 9.4	4 3.1	51 40.2	43 33.9	10 7.9	-	7 5.5
	60歳代	90 100.0	10 11.1	2 2.2	40 44.4	36 40.0	-	-	2 2.2
	70歳以上	49 100.0	13 26.5	4 8.2	14 28.6	11 22.4	3 6.1	2 4.1	2 4.1

図 25

若い人のもう一つの特徴は、カップルでの訪問者が 19 歳以下では 18.4%、20 歳代では 17.3%と、一定数いるということが挙げられます。そこで、若い人を呼び込むもう一つの方

策として、カップルをさらに呼び込む方法について考えてみました。

名古屋城には縁結びの神がいた  
—名古屋城を縁結びの聖地へ—

私たちが考えた案は、徳川宗春をもっともつと恒久的（こうきゅうてき）にクローズアップすることです。徳川宗春は、現在の名古屋のにぎわいを作り出した大元（おおもとの）人です。名古屋独自の文化を発展させたのも宗春ですが、実は、宗春には、自由恋愛を初めて認めた人ということはありません。

宗春は、「心中しようとした者に野ざらしの刑を言い渡したが、結果的には夫婦として普通に生活することを許可した」といわれています。つまり、当時許されていなかった自由恋愛を宗春は認めたのです。徳川宗春を大河ドラマに、という運動が名古屋にあり、名古屋城でも、前に、宗春を取り上げられたこともありましたが、宗春はもっともつとクローズアップすべき人物です。宗春をクローズアップし、庶民の自由恋愛を初めて許した人だということが知れ渡れば、自然とカップルは集まってくると思います。その際、チケットのカップル割などがあれば、カップルに喜ばれることは間違いありません。

また、カップルが最終的に行き着く場所といえば結婚です。名古屋城の茶室では、挙式を挙げることができます。名古屋城を縁結びの聖地として売り出していくなれば、それに影響を受けたカップルが名古屋城で挙式をあげることもあるでしょう。このようにして、結婚式場として名古屋城に足を運んでもらうこともできますし、名古屋城自体で結婚式を挙げずとも、名古屋城の近くにあるウェスティンナゴヤキャッスルでは、本丸挙式という挙式を挙げるができます。

この本丸挙式で挙式を挙げた場合、挙式料金の一部が本丸御殿復元の一助となります。直接的にしろ間接的にしろ、名古屋城の活性化につながります。このように、名古屋城を縁結びの聖地として売り出すことは、単純にカップル層の来客数を増やすだけでなく、そこを足掛かりに結婚する層を引き込み、さらに名古屋城を活性化させることのできる可能性を秘めています。

## 高齢者層の分析

地域 × 年齢

上段:度数 下段:%		地域													
		合計	名古屋市	愛知県(名古屋市除く)	岐阜県	三重県	静岡県	近畿	北陸・甲信越	中国・四国	関東	東北	九州・沖縄	北海道	海外
年齢	全体	860 100.0	115 13.4	134 15.6	37 4.3	36 4.2	61 7.1	98 11.4	57 6.6	52 6.0	204 23.7	30 3.5	27 3.1	7 0.8	2 0.2
	19歳以下	49 100.0	8 16.3	11 22.4	2 4.1	4 8.2	5 10.2	- -	1 2.0	4 8.2	10 20.4	1 2.0	2 4.1	1 2.0	-
	20歳代	256 100.0	26 10.2	41 16.0	15 5.9	12 4.7	23 9.0	39 15.2	8 3.1	11 4.3	63 24.6	6 2.3	12 4.7	-	-
	30歳代	144 100.0	15 10.4	25 17.4	11 7.6	7 4.9	5 3.5	17 11.8	13 9.0	4 2.8	33 22.9	7 4.9	5 3.5	1 0.7	1 0.7
	40歳代	141 100.0	12 8.5	21 14.9	3 2.1	6 4.3	5 3.5	16 11.3	21 14.9	11 7.8	41 29.1	4 2.8	1 0.7	-	-
	50歳代	129 100.0	16 12.4	12 9.3	4 3.1	1 0.8	22 17.1	13 10.1	7 5.4	16 12.4	27 20.9	7 5.4	2 1.6	2 1.6	-
	60歳代	92 100.0	18 19.6	13 14.1	2 2.2	3 3.3	1 1.1	12 13.0	4 4.3	5 5.4	25 27.2	4 4.3	3 3.3	1 1.1	1 1.1
	70歳以上	49 100.0	20 40.8	11 22.4	-	3 6.1	-	1 2.0	3 6.1	1 2.0	5 10.2	1 2.0	2 4.1	2 4.1	-

図 26

図 26 は、年齢別に見た、どの地域から来たかをあらわした表です。

60 歳代は 19.6%、70 歳代は 40.8%と、ともに近隣である名古屋市内から多く訪れていることがわかります。

訪問を考えたきっかけ × 年齢

上段:度数 下段:%		訪問を考えたきっかけ									
		合計	歴史が好き	お城が好き	雑誌・TV・チラシ・パンフレットを	HPを見て	他の観光地を訪れたついで	友人や知人に勧められて	友人や知人を案内するため	ツアー	その他
年齢	全体	853 100.0	140 16.4	260 30.5	57 6.7	11 1.3	269 31.5	72 8.4	32 3.8	45 5.3	120 14.1
	19歳以下	49 100.0	11 22.4	13 26.5	4 8.2	1 2.0	11 22.4	4 8.2	5 10.2	-	5 10.2
	20歳代	257 100.0	25 9.7	51 19.8	23 8.9	4 1.6	111 43.2	24 9.3	4 1.6	5 1.9	33 12.8
	30歳代	143 100.0	20 14.0	44 30.8	9 6.3	4 2.8	44 30.8	6 4.2	6 4.2	12 8.4	24 16.8
	40歳代	140 100.0	23 16.4	43 30.7	10 7.1	1 0.7	43 30.7	11 7.9	7 5.0	10 7.1	19 13.6
	50歳代	128 100.0	29 22.7	42 32.8	7 5.5	-	41 32.0	19 14.8	2 1.6	12 9.4	16 12.5
	60歳代	88 100.0	17 19.3	45 51.1	3 3.4	1 1.1	12 13.6	7 8.0	4 4.5	1 1.1	17 19.3
	70歳以上	48 100.0	15 31.3	22 45.8	1 2.1	-	7 14.6	1 2.1	4 8.3	5 10.4	6 12.5

図 27

高齢者は、なぜ、名古屋城を訪れるのでしょうか。

図 27 は、年齢別に見た、名古屋城へ訪問を考えたきっかけをあらわした表です。

60 歳代は 51.1%、70 歳以上は 45.8%と、ともにお城が好きで名古屋城を訪れている人が多いことがわかります。また、60 歳代は 19.3%、70 歳以上は 45.8 と、ともに歴史が好きで名古屋城を訪れている人も多いことがわかります。



城以外で今回訪れたところ、訪れる予定のところ × 年齢

上段:度数 下段:%		城以外で今回訪れたところ、訪れる予定のところ											
		合計	東山動物園	徳川園・蓮左文庫・徳川美術館	熱田神宮	テレビ塔・オアシス21	大須(観音)・栄	名古屋港水族館	ナゴヤドーム	名古屋科学館	ノリタケの森	トヨタ産業技術記念館	その他
年齢	全体	714 100.0	71 9.9	136 19.0	123 17.2	87 12.2	106 14.8	63 8.8	184 25.8	51 7.1	42 5.9	34 4.8	114 16.0
	19歳以下	43 100.0	7 16.3	5 11.6	-	3 7.0	5 11.6	2 4.7	14 32.6	5 11.6	1 2.3	-	7 16.3
	20歳代	236 100.0	22 9.3	28 11.9	25 10.6	24 10.2	54 22.9	25 10.6	55 23.3	20 8.5	2 0.8	3 1.3	40 16.9
	30歳代	117 100.0	9 7.7	12 10.3	20 17.1	14 12.0	12 10.3	8 6.8	32 27.4	9 7.7	5 4.3	5 4.3	22 18.8
	40歳代	119 100.0	14 11.8	22 18.5	26 21.8	15 12.6	7 5.9	8 6.7	45 37.8	2 1.7	5 4.2	6 5.0	15 12.6
	50歳代	104 100.0	7 6.7	29 27.9	24 23.1	19 18.3	15 14.4	9 8.7	26 25.0	4 3.8	9 8.7	6 5.8	9 8.7
	60歳代	55 100.0	3 5.5	20 36.4	13 23.6	7 12.7	3 5.5	4 7.3	6 10.9	5 9.1	14 25.5	7 12.7	10 18.2
	70歳以上	40 100.0	9 22.5	20 50.0	15 37.5	5 12.5	10 25.0	7 17.5	6 15.0	6 15.0	6 15.0	7 17.5	11 27.5

図 28

図 28 は、年齢別に見た、名古屋城の他に訪れる観光地についてあらわした表です。

60 歳代は 36.4%、70 歳以上は 50%と、ともに徳川園や蓮左文庫（ほうさぶんこ）、徳川美術館と一緒に訪れている人が多いことがわかります。また、60 歳代は 23.6%、70 歳以上は 37.5%と、ともに熱田神宮と一緒に訪れている人も多いことがわかります。このように、高齢者の方々は、お城や歴史が好きで、徳川園や熱田神宮といった歴史的建造物と合わせて名古屋城を訪れていることがわかります。ここから、歴史好きな高齢者層を呼び込む案を考えていきたいと思います。

名古屋城訪問の目的 × 年齢

上段:度数 下段:%		名古屋城訪問の目的								
		合計	おもてなし武将隊	天守閣・金シャチ	本丸御殿	御深井丸展示館	散策	お城が好き	菊花大会等イベント	その他
年齢	全体	836 100.0	87 10.4	300 35.9	73 8.7	1 0.1	204 24.4	83 9.9	27 3.2	61 7.3
	19歳以下	48 100.0	8 16.7	17 35.4	1 2.1	-	11 22.9	4 8.3	3 6.3	4 8.3
	20歳代	253 100.0	22 8.7	84 33.2	16 6.3	-	95 37.5	21 8.3	3 1.2	12 4.7
	30歳代	136 100.0	18 13.2	55 40.4	9 6.6	-	30 22.1	20 14.7	2 1.5	2 1.5
	40歳代	139 100.0	21 15.1	52 37.4	11 7.9	-	22 15.8	15 10.8	3 2.2	15 10.8
	50歳代	125 100.0	13 10.4	54 43.2	14 11.2	-	22 17.6	9 7.2	1 0.8	12 9.6
	60歳代	87 100.0	4 4.6	30 34.5	14 16.1	1 1.1	19 21.8	7 8.0	1 1.1	11 12.6
	70歳以上	48 100.0	1 2.1	8 16.7	8 16.7	-	5 10.4	7 14.6	14 29.2	5 10.4

図 29

図 29 を見ると、場内のイベントは、ほとんどの年代の訪問目的とはなっていませんでしたが、70 代の約 3 割がイベント目的で名古屋城を訪れていることがわかります。場内のイベント開催が高齢者には一定の効果を発揮したと考えられます。高齢者は、訪問回数も多く、イベントに変化を持たせていくことで、訪問のきっかけを新たに与えられるものと思います。

今回の訪問で、強く印象に残ったもの × 年齢

上段:度数 下段:%		今回の訪問で、強く印象に残ったもの							
		合計	本丸御殿 玄関二 之間	障壁画「 竹林豹虎 図」	天守閣・ 天守閣の 展示物	家康と半 蔵忍者隊	おもてな し武将隊	菊花大会 ・ 菊人形	その他
年齢	全体	735 100.0	272 37.0	162 22.0	342 46.5	28 3.8	181 24.6	96 13.1	24 3.3
	19歳以下	41 100.0	14 34.1	13 31.7	17 41.5	2 4.9	11 26.8	3 7.3	1 2.4
	20歳代	228 100.0	65 28.5	43 18.9	102 44.7	10 4.4	75 32.9	13 5.7	6 2.6
	30歳代	125 100.0	48 38.4	25 20.0	54 43.2	4 3.2	31 24.8	10 8.0	5 4.0
	40歳代	128 100.0	48 37.5	23 18.0	65 50.8	3 2.3	29 22.7	26 20.3	2 1.6
	50歳代	110 100.0	44 40.0	30 27.3	56 50.9	3 2.7	21 19.1	17 15.5	4 3.6
	60歳代	68 100.0	35 51.5	20 29.4	37 54.4	6 8.8	12 17.6	16 23.5	4 5.9
	70歳以上	35 100.0	18 51.4	8 22.9	11 31.4	- -	2 5.7	11 31.4	2 5.7

図 30

また、場内のイベントを目的にしてくる人は、それほど多くありませんでしたが、来場者の印象には強く残っていることが図 30 からわかります。つまり、何らかのイベントを打てば、どの年齢層にも効果があるが、特に高齢者に好印象を与えていることがわかります。

まとめると、高齢者は、近隣の名古屋市内からきている人が多い。また、お城が好き、歴史が好きという理由で来ている人が多い。徳川園や熱田神宮といった歴史的建造物と合わせて訪れている人が多い、イベントに敏感であるなどの特徴がありました。

### 高齢者を含む歴史好きを呼び込む

名古屋市には、徳川園や熱田神宮、白壁（しらかべ）地区や名古屋城など、歴史好きにとって非常に魅力的な場所が数多く存在しています。そこで、名古屋城だけに訪れてもらうのではなく、名古屋城を名古屋市内の魅力的な歴史的建造物の一つとして扱い、他の歴史的建造物と合わせて訪れてもらうというのはどうでしょうか。

- 一位 熱田神宮 6,417,500人
- 二位 東山動植物園 2,201,822人
- 三位 名古屋港水族館 1,907,127人
- 四位 名古屋城 1,246,279人
- 五位 農業文化園・戸田川緑地 938,998人
- 六位 シートレインランド 690,717人
- 七位 愛知県美術館 682,896人
- 八位 名古屋市農業センター 630,033人
- 九位 名古屋市科学館 607,864人
- 十位 名古屋港 586,788人

ここで名古屋市の観光地の集客数のランキングを見ていきます。こちらは、平成20年に統計を取った名古屋市の観光客数のランキングです。歴史好きの層の需要もあり、多くの初詣客が訪れる熱田神宮を筆頭に、歴史施設、レジャー施設、文化・芸術施設などバラエティーに富んだ集客がなされています。



図 31

名古屋には、なごや観光ルートバスというものがあります。なごや観光ルートバスは、名古屋の観光地をまわるバスであり、停車する観光地は図31にある通りです。ですがなご

や観光ルートバスが回る観光地こそが、名古屋市が想定している名古屋の観光地ですが、必ずしも人気のある場所を通っていないという現状にあります。観光客のニーズとあまりかみ合っていないかもしれません。



図 32

現状のルートバスは、名古屋城から、白壁（しらかべ）・主税（ちから）・撞木（しゅもく）の区域を止まらずに通って過ぎてしまいます。ルートバスがここをとおって過ぎて、徳川園に行ってから、この地区の二葉館に戻ってきて停まることになっていることで、訪問者が地理的な位置を把握できなくしています。この区域は、歴史的な街並みが残っており、名古屋城に近い散策コースとして、名古屋城とのつながりをもっと強調すべきだと思います。そのためには、名古屋城の次に、この地区の北側で停まることで、名古屋城との関係が一般にもよく理解できるようになります。また、白壁（しらかべ）・主税（ちから）・撞木（しゅもく）の全体を表すネーミングを考えて、この地域全体をもっとクローズアップし、名古屋城と徳川園との太い連携を作り出すことが必要だと思います。

名古屋城・三 の丸エリア	白壁・主税・ 檀本エリア	徳川園エリア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋城</li> <li>・ 名古屋能楽堂</li> <li>・ 名古屋市市政資料館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化のみち檀本館</li> <li>・ 文化のみち双葉館</li> <li>・ 旧春田鉄次郎邸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳川館</li> <li>・ 徳川美術館・蓬左文庫</li> <li>・ 名古屋陶磁器会館</li> </ul>

図 33

出来町通（できまちどおり）をルートバス（シャトルバス）やトラムでまっすぐつなぐとそれぞれがもっと近くなります。さらには、大須(観音)・栄へとつながるようにすることによって、点が線になり、面となっていきます。

自家用車で来ている人への提案  
(略)

## 地元の人への提案

年齢 × 地域

上段: 度数 下段: %		年齢							
		合計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
地域	全体	860 100.0	49 5.7	256 29.8	144 16.7	141 16.4	129 15.0	92 10.7	49 5.7
	名古屋市	115 100.0	8 7.0	26 22.6	15 13.0	12 10.4	16 13.9	18 15.7	20 17.4
	愛知県(名古屋市除く)	134 100.0	11 8.2	41 30.6	25 18.7	21 15.7	12 9.0	13 9.7	11 8.2
	岐阜県	37 100.0	2 5.4	15 40.5	11 29.7	3 8.1	4 10.8	2 5.4	—
	三重県	36 100.0	4 11.1	12 33.3	7 19.4	6 16.7	1 2.8	3 8.3	3 8.3
	静岡県	61 100.0	5 8.2	23 37.7	5 8.2	5 8.2	22 36.1	1 1.6	—
	近畿	58 100.0	—	39 39.8	17 17.3	16 16.3	13 13.3	12 12.2	1 1.0
	北陸・甲信越	57 100.0	1 1.8	8 14.0	13 22.8	21 36.8	7 12.3	4 7.0	3 5.3
	中国・四国	52 100.0	4 7.7	11 21.2	4 7.7	11 21.2	16 30.8	5 9.6	1 1.9
	関東	204 100.0	10 4.9	63 30.9	33 16.2	41 20.1	27 13.2	25 12.3	5 2.5
	東北	30 100.0	1 3.3	6 20.0	7 23.3	4 13.3	7 23.3	4 13.3	1 3.3
	九州・沖縄	27 100.0	2 7.4	12 44.4	5 18.5	1 3.7	2 7.4	3 11.1	2 7.4
	北海道	7 100.0	1 14.3	—	—	—	2 28.6	1 14.3	2 28.6
	海外	2 100.0	—	—	1 50.0	—	—	1 50.0	—

図 34

図 34 は年齢と地域をクロスさせた集計です。名古屋市から来ている人の中で 30～50 歳代の人の割合が少ない傾向にあります。その分、他の地域より、高齢者が多く来ています。

訪問回数 × 地域

上段: 度数 下段: %		訪問回数					
		合計	初めて	2～3回目	4～5回目	6～9回目	10回以上
地域	全体	864 100.0	447 51.7	246 28.5	72 8.3	20 2.3	79 9.1
	名古屋市	117 100.0	21 17.9	32 27.4	19 16.2	8 6.8	37 31.6
	愛知県(名古屋市除く)	135 100.0	34 25.2	53 39.3	15 11.1	5 3.7	28 20.7
	岐阜県	38 100.0	18 50.0	11 30.6	6 16.7	—	1 2.8
	三重県	37 100.0	12 32.4	19 51.4	5 13.5	1 2.7	—
	静岡県	60 100.0	26 43.3	18 30.0	9 15.0	—	7 11.7
	近畿	101 100.0	66 65.3	30 29.7	2 2.0	1 1.0	2 2.0
	北陸・甲信越	56 100.0	32 57.1	15 26.8	5 8.9	2 3.6	2 3.6
	中国・四国	52 100.0	42 80.8	7 13.5	1 1.9	2 3.8	—
	関東	202 100.0	140 69.3	52 25.7	7 3.5	1 0.5	2 1.0
	東北	30 100.0	24 80.0	5 16.7	1 3.3	—	—
	九州・沖縄	28 100.0	23 82.1	3 10.7	2 7.1	—	—
	北海道	8 100.0	7 87.5	1 12.5	—	—	—
	海外	2 100.0	2 100.0	—	—	—	—

図 35

次に訪問回数と地域をクロスした集計を見てみますと地元の人でも、初めての人や 2～3 回目の方で 45.3% あります。この結果と先ほどの結果を見合わせるとおそらく小学生の時遠足などで訪れてから名古屋城を訪れていないのではないのでしょうか。訪問回数が多い人はどうでしょうか。

年間パスポートを持っていますか？ × 訪問回数

上段:度数 下段:%		年間パスポートを持っていますか？		
		合計	はい	いいえ
訪問回数	全体	846 100.0	43 5.1	803 94.9
	初めて	440 100.0	2 0.5	438 99.5
	2～3回目	247 100.0	4 1.6	243 98.4
	4～5回目	66 100.0	6 9.1	60 90.9
	6～9回目	17 100.0	1 5.9	16 94.1
	10回以上	76 100.0	30 39.5	46 60.5

図 36

名古屋城訪問の目的 × 訪問回数

上段:度数 下段:%		名古屋城訪問の目的								
		合計	おもてなし 武将隊	天守閣・ 金シャチ	本丸御殿	御深井丸 展示館	散策	お城が好 き	菊花大会 等イベン ト	その他
訪問回数	全体	842 100.0	87 10.3	303 36.0	75 8.9	1 0.1	204 24.2	84 10.0	27 3.2	61 7.2
	初めて	436 100.0	15 3.4	187 42.9	28 6.4	-	107 24.5	59 13.5	7 1.6	33 7.6
	2～3回目	237 100.0	24 10.1	84 35.4	25 10.5	-	69 29.1	17 7.2	4 1.7	14 5.9
	4～5回目	72 100.0	14 19.4	20 27.8	12 16.7	1 1.4	10 13.9	6 8.3	5 6.9	4 5.6
	6～9回目	17 100.0	4 23.5	4 23.5	3 17.6	-	4 23.5	-	2 11.8	-
	10回以上	80 100.0	30 37.5	8 10.0	7 8.8	-	14 17.5	2 2.5	9 11.3	10 12.5

図 37

訪問回数が多い人は、おもてなし武将隊を目当てに、年間パスポートを持ち、来場されていることがわかります。

まとめますと、30～50 歳代の人は名古屋城に来ている割合が少なく、地元の人は初めて訪れたか 2～3 回訪れた人が多い。つまりは、小学校の頃 1 回行ったきり、名古屋城にいかない人が多い。訪問回数が多い人は、おもてなし武将隊を目当てに、年間パスポートを持ち、来場されていることがわかりました。

地元の人への提案として、新たなイベントを打ってはどうでしょうか。  
 地元の人が来やすく、地元以外の方々にも喜んでもらえるいくつかのイベントを考えました。一つは、金シャチ横丁ができるまでに、やってみてほしいイベントです。  
 もう一つは、宗春にちなんだイベントです。



金シャチ横丁が完成するまでにまだ少し時間がありますので、横丁への出店予定者を中心に、名古屋の食文化・生活文化を紹介するイベントを城内で開催したらよいと思います。

出店予定者には、何が好まれ、何が売れるのかなど、マーケティングにもなります。老舗（しにせ）の和菓子屋さんが、お城にちなんだ食べ物やお土産を提供するシーンを考えています。

もう一つは、日本酒の試飲です。

先輩からの引き継ぎのなかで、一昨年のアンケートの中から、「名古屋城には遠足で来て以来だ」という意見を得たという話をききました。そこで、愛知県内の方は遠足で名古屋城を訪れる人が多いと考え、大人になってから再び名古屋城を訪れてもらうきっかけがあればよいのではと、大人向けのイベント「日本酒の試飲会」を考えました。

現在、ナゴヤクラウドという若手の酒蔵（さかぐら）の取り組みがあります。ナゴヤクラウドは、2014年春に結成された日本酒の販売促進を目的とするグループで、これまで、県内を中心にイベントや利き酒会を開催してきました。これによって、地酒専門店や百貨店での取り扱いが増え、女性中心に若者の評価もUPしました。

名古屋にもたくさんの酒蔵（さかぐら）が存在しています。

名古屋には46の酒蔵（さかぐら）があります。近年日本酒離れが進んでいることから、名古屋城で日本酒の試飲会を開くことで、地酒をより多くの人に知ってもらい、また、美味しいお酒を目的とした観光客の増加を見込めるのではないかと考えました。愛知県には46の酒蔵（さかぐら）をたばねる愛知県酒造組合がありますので、組合とタッグを組んで、名古屋城を眺めながら地酒をたしなむイベントを実施するとよいと思います。また、この試飲会では、お酒を飲むということで、観光客は基本的に公共機関を利用することになり、駐車場の混雑の解消にもつながると思います。

また、先ほど徳川宗春を取り上げましたが、宗春の生誕は、元禄9年10月28日（1696年11月22日）、今年でちょうど320年になります。今年は、宗春のイベントを打つにはうってつけの年です。生誕320周年のようなイベントを本年秋に打ち、以後、生誕祭を毎年継続することです。イベントでは、「ミスターむねはる」を選んだり、行列とファッションショーを行ってはいかがでしょうか。

宗春のイベントには、現代の宗春が必要です。「ミスターむねはる」を公募し、数名を選んで、交代で行事をこなしてもらいます。また、宗春は、当時のファッションリーダーだと言われています。彼らには、ファッションショーのモデルにもなってもらいます。黒い馬にまたがった宗春が颯爽（さっそう）と行進する行列は絵になります。ファッションショーと行列を実現するために、繊維の街・長者町のゑびす祭りとコラボすることも考えられます。地元を盛り上げるためにも、こうしたイベントを考えてみてほしいと思います。

## 散策好きな人への提案

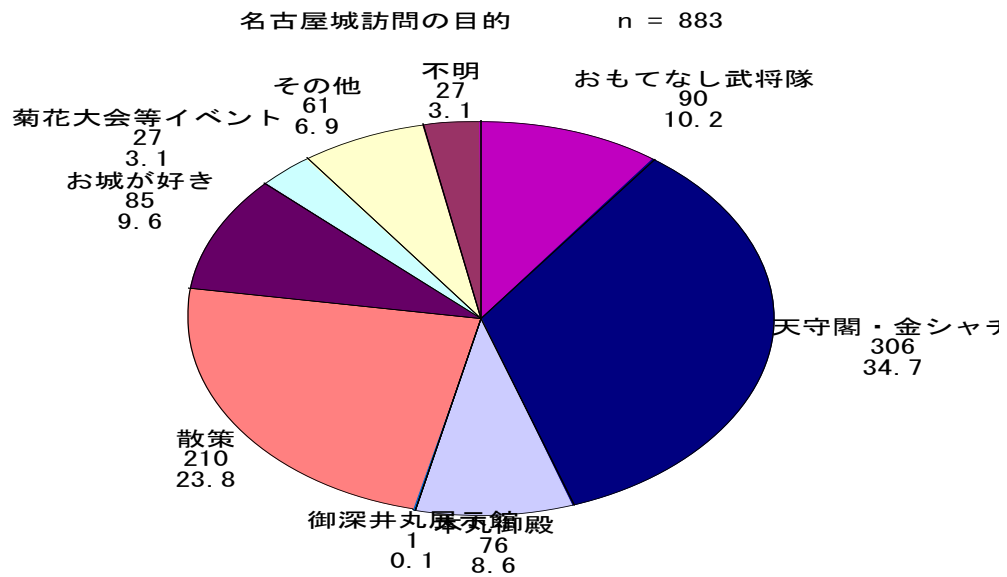


図 38

単純集計を見ても名古屋城に散策目的で来ている人は 23.8% もいます。そのため散歩好きな人への提案は有効的だと思います。

訪問を考えたきっかけ × どなた

上段:度数 下段:%		訪問を考えたきっかけ									
		合計	歴史が好 き	お城が好 き	雑誌・TV ・チラシ ・パンフ レットを	HPを見て	他の観光 地を訪れ たついで	友人や知 人に勧め られて	友人や知 人を案内 するため に	ツアー	その他
どなたと	全体	862 100.0	142 16.5	257 29.8	56 6.5	11 1.3	272 31.6	74 8.6	33 3.8	46 5.3	125 14.5
	1人で	92 100.0	21 22.8	33 35.9	7 7.6	1 1.1	13 14.1	7 7.6	4 4.3	4 4.3	24 26.1
	カップル	89 100.0	19 21.3	34 38.2	5 5.6	2 2.2	26 29.2	6 6.7	3 3.4	1 1.1	8 9.0
	友人らと	387 100.0	55 14.2	98 25.3	27 7.0	4 1.0	138 35.7	39 10.1	20 5.2	9 2.3	62 16.0
	ご家族	229 100.0	40 17.5	74 32.3	16 7.0	2 0.9	92 40.2	13 5.7	6 2.6	5 2.2	26 11.4
	社内旅行	34 100.0	2 5.9	5 14.7	-	-	3 8.8	9 26.5	-	17 50.0	-
	学校行事	10 100.0	1 10.0	3 30.0	-	1 10.0	-	-	-	-	5 50.0
	ツアーb	21 100.0	4 19.0	10 47.6	1 4.8	1 4.8	-	-	-	10 47.6	-

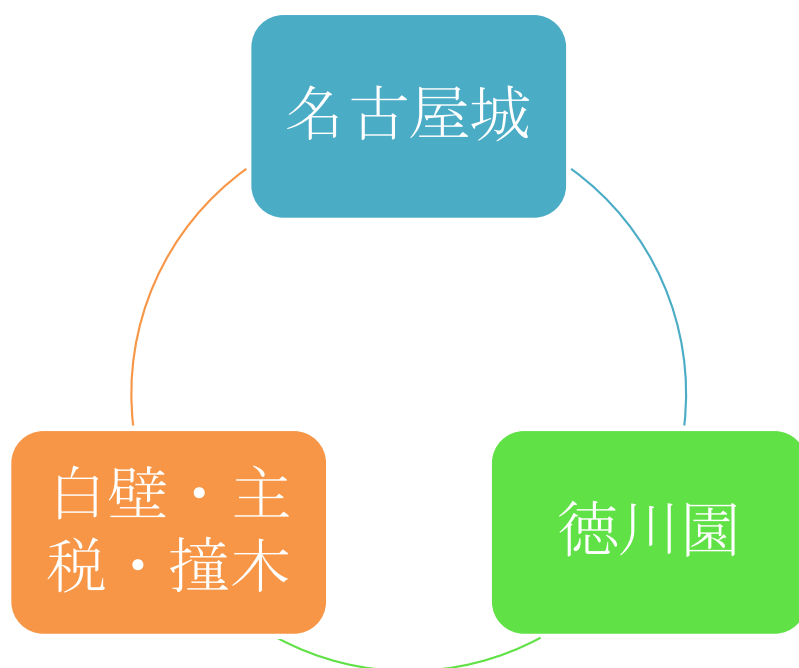
図 39

その中で散策目的の属性は比較的幅広い年齢層や属性にみられるという傾向がありましたので、今までの名古屋市がこれまで提案していた散歩コースからさらに属性を広げていきたいと思います。まず、注目してみたいのはカップルです。この集計結果によると歴史が

好き、お城が好きなカップルは比較的多いと分かりました。そのため、カップルへ名古屋城を含めた散歩コースも有効的だと思われます

名古屋城の観光目的として「散策」の割合が高かったため、名古屋城を含めた散策コースを用意してはどうかと考えました。また、他に「歴史好き」である観光客が多かったり、カップルで観光にくる若者が少なかったりすることから、ターゲット別に散策コースを提案したいと思います。内容としては、各散策コースの載った「散策マップ」をスタート地点となる場所で配布します。名古屋城から散策開始であれば、チケット購入時に一緒に配布することになります。スタンプラリー形式とし、各所回ったところでスタンプを押してもらい、すべてのスタンプを押し終わると、最終の散策場所で得点をもらえるようにします。また、マップを持っていると、ルートバスの利用の際に割引を受けられるようにします。

名古屋城の観光目的として「散策」の割合が高かったため、名古屋城を含めた散策コースを用意してはどうかと考えました。また、他に「歴史好き」である観光客が多かったり、カップルで観光にくる若者が少なかったりすることから、ターゲット別に散策コースを提案したいと思います。コースは「歴史コース」「デートコース」「ゆっくり散策コース」「宗春コース」の4つです。宗春コースについては、先程も説明したように名古屋城が宗春のゆかりの地であることから、宗春に関係のある場所をまわるコースを考えました。では、それぞれのコースについて説明していきたいと思います。



#### 歴史コース

まずは歴史コースです。歴史コースでは、歴史好きな人をターゲットとして、名古屋城、徳川園、白壁（しらかべ）・主税（ちから）・撞木（しゅもく）の各所を回るコースを考え

ました。白壁（しらかべ）・主税（ちから）・撞木（しゅもく）には歴史的な街並みが残っているにも関わらず、ルートバスでは通り過ぎてしまうことから、あまり注目されていないように思います。また、この区域全体の名前もありません。この区域の名前を考え、歴史的な街並みの残る場所、そして名古屋城近辺の散策場所として確立し、名古屋城と徳川園との太い連携を作り出すことが必要だと思います。

#### デートコース

次にデートコースです。デートコースでは、プラン1とプラン2を考えました。プラン1は名古屋城と熱田神宮をまわるコースです。熱田神宮は名古屋市の観光場所として大変人気が高い場所になっているのですが、現在、名古屋城と熱田神宮を結ぶルートバスはありません。この二つの地点を結ぶことが出来れば、より便利になりますし、公共機関を利用して名古屋城を訪れる可能性が高くなると考えられます。プラン2は名古屋城、名古屋市科学館、大須観音をまわるコースです。名古屋市科学館も大須観音も人気の観光スポットです。特に名古屋市科学館のプラネタリウムはカップルが多く訪れます。しかし、このプラネタリウムの最終投影時間は16:40となっており、名古屋城の閉園時間も16時半なので、一日で回ろうとすると時間的に厳しくなります。また、アンケートの集計結果から名古屋城の閉園時間が早いと考えている人が多いことが分かったので、もう少し閉園時間を延ばすことが必要となると思います。

#### ゆっくり散策コース

3つめは、ゆっくり散策コースです。名古屋城、名古屋城北側、名古屋市市政資料館、四間道&円頓寺を回ります。名古屋城の北側は普段は駐車している車が多くありますが、北側からの名古屋城の眺めは大変良く、散策コースとして適しています。市政資料館は大正11年に建てられた重要文化財であり、中を無料でみることができるので、散策のポイントとして適していると思います。また、名古屋城の南西側には、四間道&円頓寺という商店街があり、レトロなカフェやレストランが多く、散策で歩き疲れた人が休憩できるスポットとなると思います。

#### 宗春コース

4つめは、宗春コースです。宗春ゆかりの地をセレクトし、回るコースを作れば、宗春のクローズアップと相まって、一定数の観光客を見込めます。

最後に、現在、名城公園と名古屋城の間の道路は、駐車スペースとして利用されていますが、ここから車を追い出すだけで、名古屋城をめぐる雰囲気の良い散策コースが誕生します。また、この散策コースを作るにあたり、北側からの景観について考える必要があります。

ます。天守閣の周りは木が多く、桜の季節などは圧巻（あっかん）です。しかし、ほとんどの季節、北側からは、お城が見えにくい状態になっているという現状があります。そのため、できるならば北側や西側からの景観を考えて、この木を移すなどして、お城が見えやすくなれば、これまでとはまた違った景色を眺めながら散歩できるようになります。また、きれいにお城がうつせるポイントとしても、人が集まってくるでしょう。そうなれば、もっと散策コースとして名古屋城を選んで足を運んでくれる人が増えるのではないのでしょうか。

## 天守閣・木造再建について

木造再建については、昨年度、調査しました。

その結果を簡単にご報告させていただきます。

今回の訪問で、強く印象に残ったもの × 地域

上段:度数 下段:%		今回の訪問で、強く印象に残ったもの							
		合計	本丸御殿 玄関二 之間	障壁画「 竹林豹虎 図」	天守閣・ 天守閣の 展示物	家康と半 蔵忍者隊	おもてな し武将隊	菊花大会 ・菊人形	その他
地域	全体	749 100.0	276 36.8	168 22.2	347 46.3	30 4.0	189 25.2	96 12.8	24 3.2
	名古屋市	93 100.0	36 38.7	23 24.7	26 28.0	5 5.4	27 29.0	17 18.3	2 2.2
	愛知県(名古屋市除 く)	116 100.0	25 21.6	20 17.2	39 33.6	3 2.6	47 40.5	13 11.2	4 3.4
	岐阜県	29 100.0	11 37.9	- -	11 37.9	- -	11 37.9	- -	- -
	三重県	34 100.0	15 44.1	6 17.6	16 47.1	1 2.9	11 32.4	3 8.8	1 2.9
	静岡県	55 100.0	18 32.7	19 34.5	22 40.0	9 16.4	15 27.3	13 23.6	- -
	近畿	89 100.0	35 39.3	19 21.3	47 52.8	3 3.4	20 22.5	11 12.4	5 5.6
	北陸・甲信越	49 100.0	27 55.1	6 12.2	24 49.0	- -	11 22.4	6 12.2	1 2.0
	中国・四国	47 100.0	23 48.9	11 23.4	30 63.8	1 2.1	3 6.4	11 23.4	3 6.4
	関東	189 100.0	61 32.3	47 24.9	110 58.2	5 2.6	34 18.0	21 11.1	6 3.2
	東北	25 100.0	13 52.0	9 36.0	14 56.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0
	九州・沖縄	21 100.0	10 47.6	6 28.6	8 38.1	- -	5 23.8	- -	1 4.8
	北海道	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -
	海外	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

まず、私たちの今年度の調査で、名古屋城訪問後に印象に残ったものをあげてもらうと、天守閣・天守閣の展示物、本丸御殿玄関二之間、おもてなし武将隊、障壁画の順であります。

これを見ると、天守閣と本丸御殿の印象度が格段に高いことがわかります。

まだ復元途中であるにもかかわらず、本丸御殿で受けたインパクトの高さに驚きます。鉄筋の天守閣でも相当なインパクトを与えられていますが、天守閣が木造で復元されることによって、新たな物語が語られるようになればその印象はさらに高いものとなるのが期待できます。

【名古屋城の天守閣について】  
現在の天守閣は、昭和 20年に戦災で焼失して以降、再建機運の高まりもあり、昭和 34年に鉄骨鉄筋コンクリートで再建され、築後50年以上が経過しました。

問8 現在の天守閣を今後どうしていくと思いますか(選択は1つ)

回答総数	445	回答者数	445	比率は回答数÷ 回答者数で算出	20%	40%	60%	80%
1 現在の天守閣を存続させて、耐震補強や改修などを行う	回答数	比率	316	71.0%				
2 現在の天守閣を解体して、現状と同じく鉄骨鉄筋コンクリートで再建する	回答数	比率	12	2.7%				
3 現在の天守閣を解体して、木造で復元する	回答数	比率	68	15.3%				
4 わからない	回答数	比率	39	8.8%				
5 その他	回答数	比率	10	2.2%				

図は名古屋市が行ったネット調査の結果で、これによると、木造復元は、15.3%でした。

天守閣の整備方法 × 性別

上段:度数 下段:%		天守閣の整備方法					
		合計	天守閣を 解体し て、木造 で復元す	存続させ て、耐震 補強や回 収などを	天守閣を 解体し て、鉄骨 鉄筋コン	わから ない	その他
性別	全体	842 100.0	250 29.7	443 52.6	19 2.3	120 14.3	10 1.2
	男	422 100.0	172 40.8	178 42.2	12 2.8	55 13.0	5 1.2
	女	420 100.0	78 18.6	265 63.1	7 1.7	65 15.5	5 1.2

図は、昨年度の先輩の調査結果ですが、名古屋市が行ったネット調査と同じ項目で調査しました。名古屋城に来た人に聞いてみると、ネット調査の約2倍の方が、木造復元を選択されています。これを男女別で見たときに、男女で大きな差がありました。なんと、男性の40.8%が木造復元を求めているのです。その理由はいくつもありますが、男性の方がロマンを追っているということでしょうか。